

令和4年度 第1回学校運営協議会 報告（令和4年5月13日実施）

1 学校運営協議会報告

(1) 学校運営協議会開催に関して

令和3年度に、コミュニティ・スクール制度が導入となり、令和4年度は2年目となる。構成する委員として、昨年の委員に加え、地域代表として自治会長から2名を委員として新たに迎えた。

(2) 学校運営に関する基本的な方針の承認について

学校教育目標、学校経営方針（目指す児童像、目指す学校像、目指す教師像）、和土小学校として取り組むべき課題（GIGAスクール構想、学習評価、言葉の力の育成、STEAMS教育、SDGs、プログラミング教育、教科担任制）等の学校運営に関する基本的な方針について校長から説明を受け承認した。

(3) 「あいさつ運動」について

「あいさつ運動」について

< 教頭より >

- 毎月第3週に「あいさつ運動」を行っていて、『ハローウィーク』と名付けている。
- 和土ガエルマークを児童・保護者へ配付した。「頑張り表」の取組や保護者アンケートを実施した。
- 児童昇降口での「あいさつ運動」に取り組んでいる。
- 各自治会へ、掲示用ポスターの配付・地域の方の目印として和土ガエルマークの配付（黒谷自治会、笹久保自治会、和土住宅自治会）をした。
- 今後も「あいさつ運動」の取組を工夫して盛り上げていきたい。

< 話し合いから >

- 地域の方が、子どもに声をかけるようになってきた。
 - ・挨拶の基本は家庭だと思うが、通学路など校外だと挨拶をするのがなかなか難しいのかもしれない。校内のお客さんにはきちんと挨拶できるとよい。
 - ・地域の方の目印がなくても挨拶ができるのがよいが、一つのきっかけづくりとしてよい。
 - ・和土ガエルのマークが外れやすい点は課題である。消しゴムスタンプを作るのはどうか。
⇒百円ショップでマスクに付けられるクリップを購入することもできる。

「和土小サマースクール」について

< 教頭より >

- 「和土小サマースクール」とは、夏季休業中の水泳指導と関連させて、学習の時間を新たに設定する案のことである。本年度は、水泳学習とは関係なく、学習の時間のみを二日間、2時間程度、高学年を対象に設定していく予定である。学習補助は、岩槻高校の生徒（今後協力を要請する）を想定している。

< 話し合いから >

- ・教員の負担を考えると無理にやらなくてもよい。
- ・夏季休業中に児童を集めるよさはどれだけあるか。
- 二日間で希望制ならば行ってみてもよいのでは。
- 高校生との関わりがあるのは、コミュニケーションの面からもとてもよい。
- 保護者や地域の人も参加できるのでは。

⇒今後、詳しいことが決定してきたら、学校運営協議会や保護者の方々にお伝えする。

